

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330431089	社会科教育法 Social Studies Education Act	加藤雅亮			2	選択	3前期

科目の概要

小学校教諭としての専門知識・技能、児童を引き付けるノウハウを身に付けるために、小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援およびその検討の基礎となる社会的な見方・考え方について基本的な理解を深め、それらに基づいて小学校社会科の授業の実践方法や授業の分析・検討する力を修得します（DP2）。

学修内容	到達目標
① 小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援およびその検討の基礎となる社会的な見方・考え方について理解する。 ② 小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援およびその検討の基礎となる社会的な見方・考え方に基づいて、小学校社会科の授業を検討する。 ③ 学習指導案を作成し、模擬授業を行う。	① 小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援およびその検討の基礎となる社会的な見方・考え方について理解することができる。 ② 小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援およびその検討の基礎となる社会的な見方・考え方に基づいて、小学校社会科の授業を検討することができる。 ③ 学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	グループでの話し合いに積極的に参加しようとしたり、全体での質疑応答などの場面で自分の疑問点や意見を述べたりすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	必要な情報や知識を自ら集め、それを学修にいかすことができる。
考え抜く力	課題発見力	自分なりに課題を設定して、学習指導要領や実践事例を分析することができる。
	計画力	
	創造力	楽しい模擬授業を創りあげるために、自分なりの工夫を考え、指導案に書いて実践することができる。
チームで働く力	発信力	グループでの話し合いや全体での発表の場面で自分の考えを表現することができる。
	傾聴力	グループでの話し合いの場面や模擬授業を考える場合、他のメンバーの考えを聞いて、自分の考えの練り上げに活かすことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	学修上のルールを守って行動したり、学修課題に沿ってグループで話し合ったりすることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

小学校学習指導要領 総則および社会科（平成29年3月告示）文部科学省HPよりダウンロード可能。
 東京書籍（2023）『新しい社会5年 下』・2年生「社会科研究」で使用した『新しい社会5年 上』
 その他の学年の社会科単元については、教官より必要に応じて資料を提示する。

他科目との関連、資格との関連

2年時に履修した社会科研究の発展となる科目である。実際の教科書の内容から、指導案を作成する学修を行い、模擬授業者として授業を行うことができるようにする。小学校教諭免許を取得し、小学校教諭として社会科を指導するための実践的な科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 講義や活動の中で疑問をもったことがあれば積極的に質問をすること。 社会科のみならず小学校の授業や学級経営そのものの在り方についても講義で言及する予定である。教育実習に直接役だつとの心構えで受講すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 私語など周囲にとって迷惑となる行動は慎むこと。 携帯やスマートフォンは、使用するよう指示がある場合を除いて、電源を切るかマナーモードにして、かばんの中に入れておくこと。 教官の指定する座席に着席すること。 レポート等で何かを参考にしたり文章を引用したりした場合は、必ずそれがわかるようにし、出典を記載すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		70	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			20	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援とその検討の基礎となる社会的な見方・考え方を関連付けて実践レベルで理解することができる。②小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援とその検討の基礎となる社会的な見方・考え方を関連付けて、小学校社会科の模擬授業を計画することができる。③②の計画に基づいて、子どもが主体的に取り組む場面を設けた模擬授業を実践することができる。	①小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援とその検討の基礎となる社会的な見方・考え方について理解することができる。②小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援とその検討の基礎となる社会的な見方・考え方について、小学校社会科の授業を計画・表現することができる。③②の計画に基づいて、模擬授業を実践することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション (授業の概要・計画および評価について) これまで受けてきた社会科の授業はどのようなものだったか、振り返り発表する。	講義 ディスカッション グループワーク	社会科における学習目的・学習内容・学習方法の関連性について理解することができる。	(予習) これまで受けてきた小学校社会科の授業でどのようなことを学んだのか、その目的は何だったのかを振り返る。 (復習) 発表を聞いて内容を振り返り、この段階での小学校社会科の授業のイメージをもつ。また、津田塾大学ライティングセンターの「レポートの書き方」を参照し、今後のレポートの書き方について学ぶ。 https://twc.tsuda.ac.jp/news/202007/2020070800000455.html	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
2	小学校学習指導要領総則を読んで、その趣旨を理解する。	講義 ディスカッション グループワーク (2週目以降、google forms や google classroom を用いての授業やフィードバックをすることもある)	小学校学習指導要領総則がめざす小学校の授業のあるべき姿をイメージすることができる。	(予習) 小学校学習指導要領総則を一通り読んで、キーワードを書く。 (復習) 総則の重要点を振り返り、特にポイントとなる内容について再考する。さらに、総則の全体像を要約できる。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
3	小学校学習指導要領社会科5年生を読み、目標・内容・内容の取扱いについて理解する。	講義 ディスカッション グループワーク	小学校学習指導要領5年生社会科の目標・内容について理解することができる。	(予習) 小学校学習指導要領社会科5年生を読んで、キーワードを書く。 (復習) 5年生の社会科学習指導要領を読み直し、講義を振り返りながら、特徴となる点をまとめる。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
4	学習指導案の書き方について学修する。 指導案に沿った教官による模擬授業を受けて、模擬授業を考える。	講義 ディスカッション グループワーク	指導案の書き方を理解し、自分たちの模擬授業をイメージできる。	(予習) 模擬授業の具体的な板書計画を考える。 (復習) 教官による模擬授業を振り返り、自分なりの授業を構想して、その指導案を立てる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	どの内容を取り上げるかグループで話し合い、決定する。 グループで学習指導案の作成を行う。	グループワーク	互いの考えを出し合っ て意見交換を行い、グループの方針を決めることができる。	(予習) 内容研究を個人で深めて、次週の活動に生かせるようにする。 (復習) 個人としての学習指導案を立ててみる。また、その素案から考えられる板書計画を描いてみる。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	グループで学習指導案の作成を行う。随時、教官の指導を仰ぐ。	グループワーク フィードバック	互いの考えを出し合っ て意見交換を行い、グループの学習指導案の作成に参加する。	(予習) 模擬授業の指導過程を自分なりに作ってみる。 (復習) 教官の助言を基にグループの指導案の改善を図る。板書計画もそれに従って改変する。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	グループで学習指導案の作成を行う。随時教官の指導を仰ぐ。	グループワーク フィードバック	互いの考えを出し合っ て意見交換を行い、グループの学習指導案の作成に参加する。	(予習) 模擬授業に必要なワークシートや資料を作成する。 (復習) 教官の指導を基に指導案やワークシートの完成を行う。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	指導案に沿って、模擬授業のリハーサルを行う。	グループワーク	グループで協力してリハーサルを行い、改善点を出して模擬授業を改良できる。	(予習) 模擬授業の準備をする。また、次週の板書計画を書く。 (復習) リハーサルの結果を反省し、自分の役割を再度反復練習し、改善する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	小学校5年生「世界の国土」の模擬授業に参加した後、授業検討を行う。	発表・実習 ディスカッション グループワーク フィードバック	グループで分担・協力して模擬授業ができる。 模擬授業に参加し、授業検討ができる。	(予習) 模擬授業の準備をする。また、次週の板書計画を書く。 (復習) 本日の模擬授業実践を振り返り、自分なりの改善点を付け加えて、指導案と板書計画に表現する。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	小学校5年生「国土の地形の特色」の模擬授業に参加した後、授業検討を行う。	発表・実習 ディスカッション グループワーク フィードバック	グループで分担・協力して模擬授業ができる。 模擬授業に参加し、授業検討ができる。	(予習) 模擬授業の準備をする。また、次週の板書計画を書く。 (復習) 本日の模擬授業実践を振り返り、自分なりの改善点を付け加えて、指導案と板書計画に表現する。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	小学校5年生「くらしを支える食料生産」の模擬授業に参加した後、授業検討を行う。	発表・実習 ディスカッション グループワーク フィードバック	グループで分担・協力して模擬授業ができる。 模擬授業に参加し、授業検討ができる。	(予習) 模擬授業の準備をする。また、次週の板書計画を書く。 (復習) 本日の模擬授業実践を振り返り、自分なりの改善点を付け加えて、指導案と板書計画に表現する。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	小学校5年生「これからの食料生産とわたしたち」の模擬授業に参加した後、授業検討を行う。	発表・実習 ディスカッション グループワーク フィードバック	グループで分担・協力して模擬授業ができる。 模擬授業に参加し、授業検討ができる。	(予習) 模擬授業の準備をする。また、次週の板書計画を書く。 (復習) 本日の模擬授業実践を振り返り、自分なりの改善点を付け加えて、指導案と板書計画に表現する。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	小学校5年生「自動車を作る工業」の模擬授業に参加した後、授業検討を行う。	発表・実習 ディスカッション グループワーク フィードバック	グループで分担・協力して模擬授業ができる。 模擬授業に参加し、授業検討ができる。	(予習) 模擬授業の準備をする。また、次週の板書計画を書く。 (復習) 本日の模擬授業実践を振り返り、自分なりの改善点を付け加えて、指導案と板書計画に表現する。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	小学校5年生「情報産業とわたしたちのくらし」の模擬授業に参加した後、授業検討を行う。	発表・実習 ディスカッション グループワーク フィードバック	グループで分担・協力して模擬授業ができる。 模擬授業に参加し、授業検討ができる。	(予習) 模擬授業の準備をする。また、次週の板書計画を書く。 (復習) 本日の模擬授業実践を振り返り、自分なりの改善点を付け加えて、指導案と板書計画に表現する。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	自分の設定した学年・単元の授業の導入を考え、3分以内で模擬授業を行う。	オンデマンド配信 発表 フィードバック	意図をもって児童を引き付ける導入を行うことができる。また、他の授業者に対して、建設的なアドバイスをすることができる。	(予習) 授業の導入を行うために自分の設定する学年・単元を考え、児童を引き付けるための具体的な「もの」を用意する。 (復習) 前期を通して学んだことをまとめ、提出する。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力